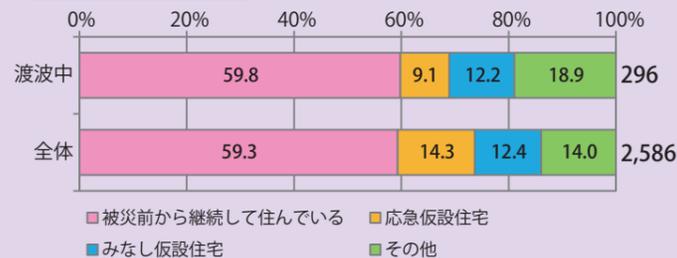


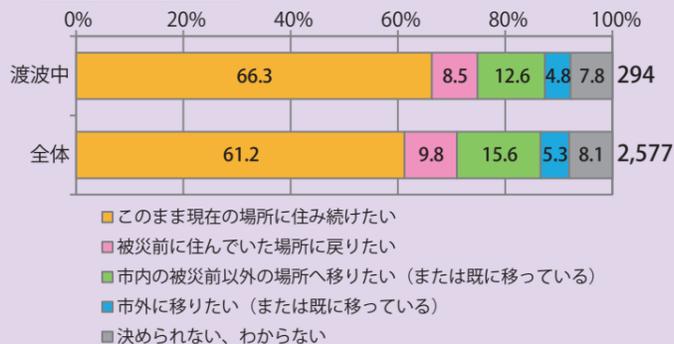
## アンケート結果

平成25年12月から平成26年1月にかけて、被災時に東部地区にお住まいの約6,000世帯の方に、アンケートを実施しました。主な設問と結果は、次のとおりです。

### ●現在のお住まい



### ●今後のお住まい



### ●住み続けるために重要と考えられる施設



### ●安全・安心のために有効と思う活動



## 今後の進め方

皆様からいただいた意見について、市では新たな財政措置が必要な課題や、より積極的に解決に取り組むべき案件などを整理・調整し、市としての方針や方向性のとりまとめを行いました。

それを、湊地区の町内会長連合会、渡波地区の行政区長会にてお示した後、市が策定する震災復興基本計画実施計画へ反映させるなど、具体化させていきたいと考えています。

## お問い合わせ先

石巻市 復興政策部 地域協働課  
 TEL：0225-95-1111(代表)  
 FAX：0225-22-4995  
 E-mail：iscviact@city.ishinomaki.lg.jp

皆さまのご意見をお待ちしています



# 東部地区復興まちづくり だより Vol.1

## 渡波中地区

### 渡波町一・二・三 浜松町 三和町

石巻市では現在、“どうすれば安心して暮らし続けることができるのか” “どうすれば仮設住宅等にお住まいの方々が戻ってこられるのか”をテーマとした東部地区\*の復興まちづくりに、住民の皆さんとともに取り組んでいます。

その一環として、昨年の11月末から地区別に2度の意見交換会を開催しましたので、その結果をお知らせします。

\*東部地区とは・・・  
 旧北上川より東側の市街地のうち、津波による被害が大きく、かつ土地区画整理事業等の事業を行わない地区を指します。



平成26年8月  
 石巻市 復興政策部 地域協働課

**第1回意見交換会を開催しました【平成25年11月28日(水)会場：渡波公民館 住民出席者：29人】**

平成25年11月28日 渡波公民館大ホールにて、渡波南地区・渡波中地区の合同意見交換会をとり行いました。

主な意見：

- ・防災無線が聞き取りづらい。
- ・避難タワーはいくつもあったほうがよい。
- ・万石橋を渡って山に逃げる方法を考えたらよい。
- ・渡波稲井線の他にも、車で避難するためのルートが必要。
- ・道路が凸凹になっており、大型車が通るたびに家が揺れるので整備してほしい。
- ・家が無くなって交差点がわかりづらく危ないので、表示をしてほしい。
- ・震災後の地盤の高さが知りたい。
- ・浜松公園の松の木を切ってしまうので、日陰になるものがほしい。
- ・12月の地震時の避難では、鹿松の山際の道路、市道流留真野沢線が渋滞した。これらの道路の幅員の確保等の整備をしてもらいたい。

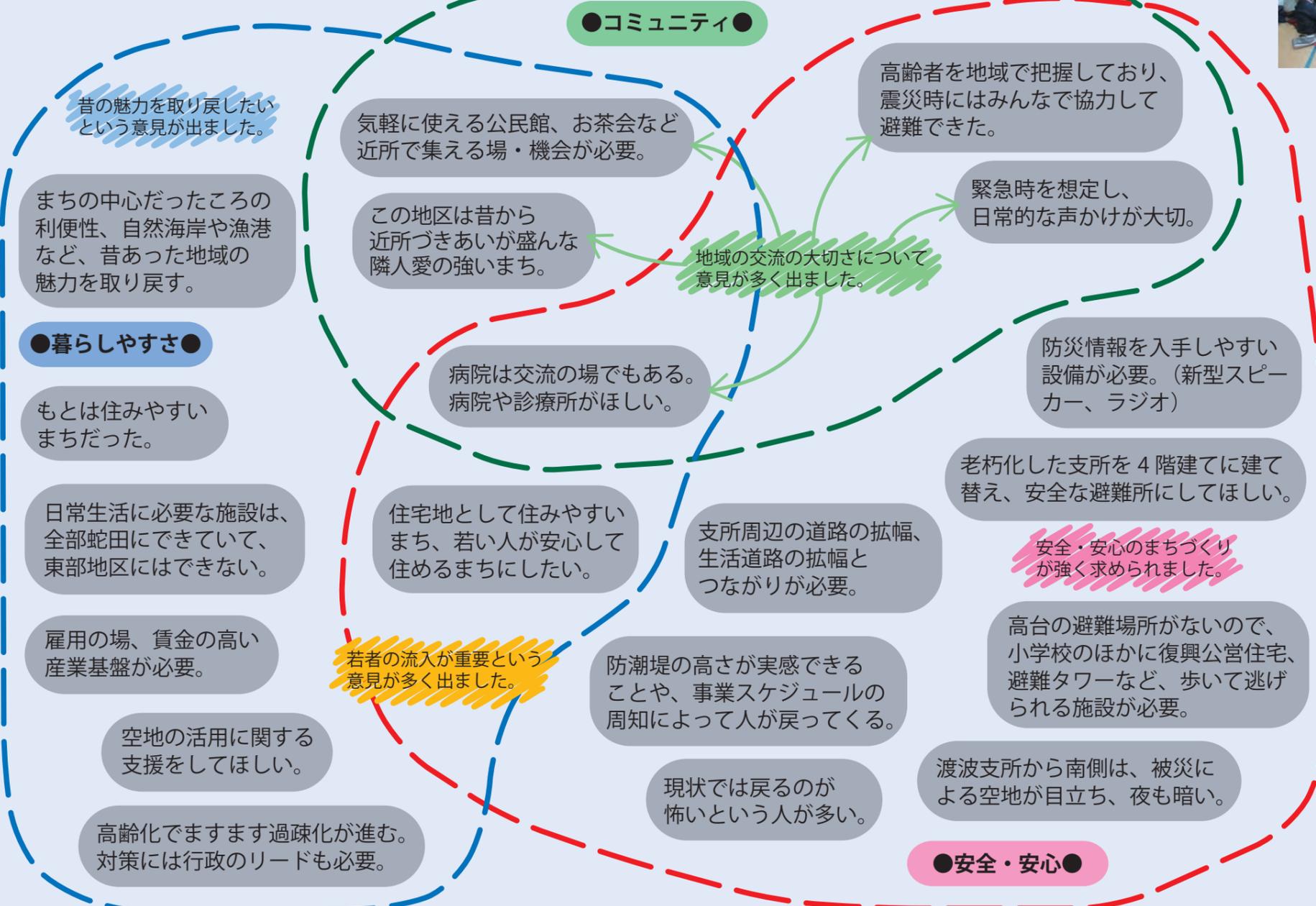


**意見交換会の様子**



**第2回意見交換会を開催しました【平成26年2月19日(火)会場：うしお荘 住民出席者：22人】**

**話し合った主な意見**



**第2回意見交換会に参加した感想・意見等**

- ・安心・安全を考えて下さい。行政のありある行動に！
- ・初めての参加です。皆で話し合うことでよりよい町を作っていくことに何かの形で参加したりして、手伝いができることを自分なりの形で行動に移したいと思いました。
- ・なかなかこういう機会がなかったので、個々に気軽に話せる場所があって良かったと思う。日頃思っていることを具体的に細かく話すことが出来、少しでも早く実現していただく事を祈っています。
- ・大変勉強になり、これからも参加したい。
- ・参加人数が少ないのが残念だった。ガス抜きで終わらせないで欲しい。
- ・意見がかみ合っていくにはどうしたらよいか？時間をかけることも大事だと思う。

**●参加してみて●**

